



# 保証継続報告書

独立行政法人 情報処理推進機構  
理事長 西垣 浩司 押印済

## 変更TOE

申請受付日（受付番号）	平成22年2月26日（IT継続0057）
認証番号	C0212
申請者	コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社
TOEの名称	日本：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 全体制御ソフトウェア 海外：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 control software
TOEのバージョン	画像制御プログラム(画像制御 I1)：00I1-G00-22 コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)：00P1-G00-20
適合する保証パッケージ	EAL3
開発者	コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社

上記の変更TOEについて、以下のとおり保証継続の結果を報告します。

平成22年3月24日

セキュリティセンター 情報セキュリティ認証室  
技術管理者 山里 拓己

**評価基準等：「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」で定める下記の規格に基づき、変更TOEに対して保証継続の検証がされた。**

Common Criteria for Information Technology Security Evaluation Version 2.3

Common Methodology for Information Technology Security Evaluation Version 2.3

## 認証結果：合格

「日本：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 全体制御ソフトウェア、海外：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 control software バージョン：画像制御プログラム(画像制御 I1)：00I1-G00-22、コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)：00P1-G00-20」(変更TOE)は、独立行政法人 情報処理推進機構が定めるITセキュリティ認証申請手続等に関する規程に従い、定められた規格に基づいて検証した結果、継続TOEとして、保証が継続されることを確認した。

# 目次

---

1	全体要約	1
1.1	はじめに	1
1.2	保証継続識別	1
1.2.1	変更TOE識別	1
1.2.2	認証TOE識別	2
1.2.3	認証TOEのST識別	2
1.2.4	認証TOEの認証報告書識別	2
1.3	保証継続の認証	3
1.4	報告概要	3
1.4.1	変更の記述	3
1.4.2	変更された開発者証拠	4
1.4.3	変更TOE添付ドキュメント	5
2	認証機関による保証継続実施及び結果	7
2.1	実施概要	7
2.2	認証実施	7
3	結論	8
3.1	認証結果	8
3.2	注意事項	8
4	用語	9
5	参照	10

# 1 全体要約

## 1.1 はじめに

この保証継続報告書は、認証済みのTOE「日本：bizhub PRO 950 全体制御ソフトウェア、海外：bizhub PRO 950 control software バージョン：画像制御プログラム(画像制御 I1)：00I1-G00-10、コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)：00P1-G00-11」(以下「認証TOE」という。)を変更した「日本：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 全体制御ソフトウェア、海外：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 control software バージョン：画像制御プログラム(画像制御 I1)00I1-G00-22、コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)00P1-G00-20」(以下「変更TOE」という。)の保証継続について、認証結果を申請者であるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に報告するものである。

本保証継続報告書の読者は、本書と共に、以下に示す認証報告書、認証TOEのST、及び変更TOEに添付されるマニュアル(詳細は「1.4.3 変更TOE添付ドキュメント」を参照のこと)を併読されたい。前提となる環境条件、対応するセキュリティ対策方針とその実施のためのセキュリティ機能要件、保証要件及びそれらの要約仕様は、認証TOEのSTにおいて詳述されている。また、動作条件及び機能仕様は変更TOEに添付されるドキュメントに詳述されている。

本保証継続報告書は、変更TOEに対して、認証TOEと同じ保証レベルを与える保証継続についての認証結果を示すものであり、個別のIT製品そのものを認証するものではないことに留意されたい。

## 1.2 保証継続識別

### 1.2.1 変更TOE識別

本保証継続の対象とする変更TOEは以下である。

名称：	日本：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 全体制御ソフトウェア
	海外：bizhub PRO 950/VarioLink 9522/ineo 950 control software
バージョン：	画像制御プログラム(画像制御 I1)：00I1-G00-22 コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)：00P1-G00-20
開発者：	コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

### 1.2.2 認証TOE識別

本保証継続の認証TOEは以下のとおりである。

認証番号： C0212  
名称： 日本：bizhub PRO 950 全体制御ソフトウェア  
海外：bizhub PRO 950 control software  
バージョン： 画像制御プログラム(画像制御 I1)：00I1-G00-10  
コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)：00P1-G00-11  
開発者： コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社  
保証レベル： EAL3

### 1.2.3 認証TOEのST識別

本保証継続の認証TOEのSTは以下のとおりである。

名称： Multi functional printer (digital copier) bizhub PRO 950  
セキュリティターゲット  
バージョン： 第5版  
作成日： 平成21年3月16日  
作成者： コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社

### 1.2.4 認証TOEの認証報告書識別

本保証継続の認証TOEの認証報告書は以下のとおりである。

TOEの名称： 日本：bizhub PRO 950 全体制御ソフトウェア  
海外：bizhub PRO 950 control software  
バージョン： 画像制御プログラム(画像制御 I1)：00I1-G00-10  
コントローラ制御プログラム(ICコントローラ P)：00P1-G00-11  
受付番号： IT認証8219  
認証番号： C0212  
作成日： 平成21年4月21日  
作成者： 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター  
情報セキュリティ認証室

### 1.3 保証継続の認証

認証機関が運営するITセキュリティ評価・認証プログラムに基づき、公表文書「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」[1]、「ITセキュリティ認証申請手続等に関する規程」[2]に規定された内容に従い、認証機関は、開発者が作成した「影響分析報告書」[3]（以下「IAR」という。）を検証し、変更TOEに対し保証が継続されることを確認した。認証機関はIARに基づき本保証継続報告書を作成し、認証作業を終了した。

### 1.4 報告概要

#### 1.4.1 変更の記述

##### 1) 認証TOEに対する変更

認証TOEに対する変更は、製品の機能追加、及び性能や不具合等に対する改善である。これらの変更はTOEのセキュリティ機能に影響を及ぼすものではない。

以下の表1-1、及び表1-2に主な変更の概要について示す。

表1-1 製品に対する変更一覧(画像制御プログラム)

変更の種類	項目	具体的内容
製造工程作業の改善と効率化	現像器新旧のDipSW設定	47-92にてDipSW24-0=1(新現像器)とする対応。
	CCD左右濃度差調整追加	工程/サービスモードでのCCD濃度を微調する設定を追加。
新規機能への対応	GP-501対応	新規オプションであるGP-501(+MK-724)に対応。
	坪量表示切り替え対応	ユーティリティ設定より坪量の単位を以下11種類に切り替え可能。パネル表示/リスト出力に反映される。(g/m <sup>2</sup> 、A本判、B本判、四六判、菊判、Bond、Book、Bristol、Cover、Index、Tag)
	PI連続挿入対応	インターシートの挿入トレイがPIトレイ時、1～20までの連続挿入指定を可能とする。
性能/機能向上	原稿取り忘れ防止メッセージ表示しない対策	プラテンコピー後、ガラス面の原稿を取らずにADF原稿セットで表示している「原稿取り除いてください」メッセージをDipSWにより表示する/しないを切り替える。(DipSW4-6 0:メッセージ有り、1:メッセージなし)
	パンチ位置と転写紙方向の排他有無の切り替え対応	パンチ位置と転写紙方向の位置をDipSWにより全ページ実施するか、先頭ページだけにするのか切り替える。(DipSW21-6 0:全ページ実施、1:先頭ページだけ実施)
	高カバレッジ制御アイコン表示対応	高カバレッジ動作中を示すアイコンを操作パネルへ表示する。
	中折り+断裁 許可/禁止切り替え対応	中折りと断裁の組み合わせをDipSWにより許可、禁止に設定する。(DipSW23-1 0:禁止、1:許可)

変更の種類	項目	具体的内容
	坪量による両面禁止	両面禁止坪量による両面モードの禁止/許可をDipSWにて切り替える。(DipSW21-3 0:禁止、1:許可)
	FS-528ステーブルリミット枚数仕様変更対応	FS-528ステーブルリミット枚数をDipSWにより1箇所/2箇所別管理とするか、共通管理とするかを切り替える。(DipSW23-0 0:別管理、1:共通管理)
	ラフ紙 + Z折り/パンチの禁則解除	ラフ紙(低速線速)時でのZ折りとパンチの禁則を解除。
	PIノーフードJAM時、機内残紙有無切り替え対応	DipSW25-0 0:機内JAM紙あり 1:機内JAM紙なし(但し、生産性ダウン)を切り替え可能とする。
JOB開始後の動作不具合の改修	JOB開始後の不具合の改修	JOB開始後の各種不具合を修正。
JOB開始後のリカバリー不具合の改修	JOB開始後のリカバリーに関する不具合の改修	JOB開始後のリカバリーに関する各種不具合を修正。
操作/設定に関する不具合改修	操作/設定に関する不具合の改修	操作/設定に関する各種不具合を修正。

表1-2 製品に対する変更一覧(コントローラ制御プログラム)

変更の種類	変更目的	具体的内容
新規機能追加	GP-501(多穴オプション)対応	新規オプション対応。印刷パラメータ、ステータス処理追加。
	PI-Tray白紙挿入複数枚対応	プリンタドライバへのパラメータ追加に伴う処理追加。
JOB開始後の動作不具合の改修	JOB開始後の不具合の改修	JOB開始後の各種不具合を修正。
操作/設定に関する不具合改修	操作/設定に関する不具合の改修	操作/設定に関する各種不具合を修正。

## 2) 認証TOEの開発環境に対する変更

開発環境に関する変更はなし。

## 1.4.2 変更された開発者証拠

TOEへの変更は、以前に認証TOEのために提出された開発者証拠の一部への変更を必要とした。変更された開発者証拠は、正確に識別され、改訂版が作成された。

## 1.4.3 変更TOE添付ドキュメント

変更TOEに添付されるドキュメントを以下に示す。

- 国内向け

- <CE向けマニュアル>

- bizhub PRO 950 インストールマニュアル A0Y5961044
    - bizhub PRO 950 サービスマニュアル フィールドサービス  
CCA0Y5-M-FJ2-0000

- <管理者・一般利用者向けマニュアル>

- bizhub PRO 950 ユーザーズガイド コピー編 A0Y5955811
    - bizhub PRO 950 ユーザーズガイド ネットワークスキャナ編  
A0Y5960011
    - bizhub PRO 950 ユーザーズガイド POD管理者編 A0Y5956111
    - bizhub PRO 950 ユーザーズガイド セキュリティ編 A0Y5956611
    - bizhub PRO 950 ユーザーズガイド プリンター編 A0Y59550-PK-11

- 海外向け

- <CE向けマニュアル>

- bizhub PRO 950 INSTALLATION MANUAL A0Y5961144
    - bizhub PRO 950 / VarioLink 9522 / MFP 95ppm SERVICE MANUAL  
Field Service CCA0Y5-M-FE2-0000
    - MFP 95ppm INSTALLATION MANUAL A0Y5961444

- <管理者・一般利用者向けマニュアル>

- bizhub PRO 950 User's Guide Copier A0Y5955711
    - bizhub PRO 950 User's Guide Network Scanner A0Y5960111
    - bizhub PRO 950 User's Guide POD Administrator's reference  
A0Y5956211
    - bizhub PRO 950 User's Guide Security A0Y5956611
    - bizhub PRO 950 User's Guide Printer A0Y59551-PK-11
    - VarioLink 9522 User's Guide Copier A0Y5999911
    - VarioLink 9522 User's Guide Network Scanner A0Y5999611
    - VarioLink 9522 User's Guide POD Administrator's Reference  
A0Y5999811
    - VarioLink 9522 User's Guide Security A0Y5999711
    - VarioLink 9522 User's Guide Printer A0Y5999511
    - MFP 95ppm User's Guide Copier A0Y59555-CO-11
    - MFP 95ppm User's Guide Network Scanner A0Y59555-NS-11

- MFP 95ppm User's Guide POD Administrator's Reference  
A0Y59555-PA-11
- MFP 95ppm User's Guide Security  
A0Y59555-SE-11
- MFP 95ppm User's Guide Printer  
A0Y59555-PK-11



## 2 認証機関による保証継続実施及び結果

### 2.1 実施概要

保証継続は、平成22年2月26日に申請を受け付けし、本保証継続報告書の完成をもって完了した。認証機関は、開発者から保証継続に要するIARの提供を受け、変更TOEに対する影響を調査した。

### 2.2 認証実施

開発者より提出されたIARについて、TOEの変更により影響がないことを確認するために、以下の検証を実施した。

TOEの変更に伴い変更する開発者証拠は妥当であること。

TOEの変更内容に対する影響分析の過程及び結果が妥当であること。

変更TOEについて適切なテストが実施されていること。

### 3 結論

#### 3.1 認証結果

提出されたIARを検証した結果、認証機関は、本変更TOEにおいても認証TOEのEAL3に対する保証要件を満たしており、変更TOEに対する保証への影響がないことを確認した。また、開発者がbizhub PRO 950で実施したレグレッションテストの結果より、変更TOEの動作に影響がないことを確認した。本変更TOEを搭載する機種にはハードウェアの違いがあるが、これらの違いは変更TOEの動作に影響を与えないためbizhub PRO 950のみでレグレッションテストを実施すれば十分であることを確認した。

#### 3.2 注意事項

特になし。

## 4 用語

本保証継続報告書で使用された略語を以下に示す。

CC	Common Criteria for Information Technology Security Evaluation
CEM	Common Methodology for Information Technology Security Evaluation
EAL	Evaluation Assurance Level
IAR	Impact Analysis Report
ST	Security Target
TOE	Target of Evaluation

本報告書で使用された用語を以下に示す。

DipSW	CE機能の一つで様々な機能を切り替えるためのソフトウェアスイッチのこと。
FS-528	ステープル機能のフィニッシャのこと。
GP-501	多穴パンチのフィニッシャのこと。
IAR	影響分析報告書。
継続TOE	認証TOEに対して継続プロセスを経て以前の認証の適用が認められた変更TOEをいう。認証TOEに対して与えられた同じ保証が、継続TOEにも適用される。
高カバレッジ	濃度が高いこと。
認証TOE	評価され認証書が発行されたTOEのバージョンのことをいう。
変更TOE	認証TOEに対して、変更が加えられた異なるバージョンをいう。

## 5 参照

- [1] ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程 平成19年5月 独立行政法人 情報処理推進機構 CCS-01
- [2] ITセキュリティ認証申請手続等に関する規程 平成19年5月 独立行政法人 情報処理推進機構 CCM-02
- [3] Multi functional printer (digital copier) bizhub PRO 950 / VarioLink 9522 / ineo 950 影響分析報告書 第2版 2010年2月16日 コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社